

音楽科学習指導案

日	時：平成24年10月18日（木）第5校時
学	年：府立分教室 中学部（3名）
授業場所	：府立分教室

1. 題材名

器楽合奏「Yesterday」

2. 生徒の実態

音楽の授業は中学1・2・3年と3学年が同じ教室で複式授業を行っている。個々の課題に向けて学習する授業と、単元によっては3学年が同じ課題に向けて学習する授業とに分けられる。

現在、府立医大分教室では、中学部3名の生徒が在籍している。学習や行事など何事にも大変意欲的である。しかし病気や学習空白、復学に対する不安や厳しい治療、長い入院生活から来るストレス、また少しずつ回復に向けて周りの様子が見えてくると同時に、自分に自信が持てず悩んでいる生徒もいる。

6月に行った4分教室集会では、中学部の生徒がビートルズの「オブラディ・オブラダ」をキーボードで連弾した。この時、「この曲知ってる。」と、分教室の児童、生徒から声が上がった。日常、自然な形で流れる音楽にビートルズの曲が使われていることを知り、楽しめる音楽に繋がることを期待したい。

3. 題材について

表現領域としての「器楽」の学習において、ポピュラー音楽の代表作の一つであるビートルズの楽曲について取り上げる。生徒が親しみやすい主旋律から、リズムの特徴や各パートの役割を理解し、表現を工夫できるように考えたい。そして、「Yesterday」の器楽アンサンブルと、原曲の2曲を鑑賞することで、「器楽」と「鑑賞」を結び付け活動意欲にも繋げたい。またビートルズの音楽から、楽器（ギターやドラムスなど）や音楽創作への姿勢を知ることで、ビートルズの興味関心が深まるのではないかと思われる。その中でビートルズの音楽に関連するエピソードを紹介したい。

生徒3名の前籍校では、ソプラノリコーダーの定着を主に捉え学習している学校と、中学校から取り入れられるアルトリコーダーを主に学習している学校とがある。そのためアルトリコーダーを持っていない生徒がいる。この曲の楽譜は、リコーダーが主となる楽譜であり、ソプラノリコーダーとアルトリコーダーによる音色から、音の幅を感じ取る曲の構成となっている。自分の持っているリコーダーを演奏することで、海外の音楽（ビートルズの音楽）を身近な音楽として、感じてほしいと思っている。

また、生徒3名は病院内が中心の生活であるため、自ら音を発生する場が限られている。院内の教室では周りを気にせず、各自がそれぞれの演奏技術を身に付けるために、練習ができる場でもある。演奏技術を身に付けるために、まず読譜力が必要である。音楽に対する興味関心をもち、奏法の定着に時間をかけることができるように、基礎的な楽典を理解することを大切にしたい。そうすることで音楽が、人生の楽しみの一つとなることを期待している。

4. 指導について

器楽合奏では、全員で共通の楽曲（教材）の演奏に取り組んでいる。登校した時は合奏に向けて、個々の課題の練習時間にあてている。そして、自分の演奏で楽器の持つ音の良さに触れることができる。合奏から、みんなで協力することの大切さが生まれ、完成する難しさや達成感を自ら学ぶことになる。音楽活動は相手のことを考え、人に対する思いやりが持てるようなる人間形成の場でもある。また日常生活で、テレビやラジオなどから様々な音声情報を得ることが多い中、音楽活動を通して自ら楽器の生の音に触れ、器楽合奏に取り組む時間が、どれだけ楽しいものなのか感じ取れるようにしたい。

分教室の音楽の授業では複式の授業が多いが、器楽では中学校3年間、同じ教科書を使用するため、学年が異なっても同じ教材で指導に当たることができる。今年7月に病室と無線LANを導入したことで、教室に出て来られないときは、ICT機器の活用で一緒に学習することができるようになった。音声については多少の時間差が生じるので、一緒に演奏する授業内容でなければ、影響は少ない。病室では、総室の生徒もいれば、個室の生徒もいる。本時においては、音の確認はイヤフォンで行う。テレビ会議システム（映像）と音声（イヤフォン）を通し、分教室とベッドサイドを繋げることで一体感を味わい、生徒の音楽活動に取り組む意欲を高めたいと考える。

5. 題材の目標

- ・リコーダーを演奏しよう。
- ・主旋律の動き方やリズムの特徴、各パートの役割を理解し、表現を工夫する。

音楽の関心・意欲	感受や表現の工夫	表現の技能
ポピュラーソングを意識し、アンサンブルを楽しんで取り組む。	主旋律の動き方やリズムの特徴、各パートの役割を理解して、表現を工夫する。	各パートの音色を表現するために、必要な技能を身につけ演奏する。

6. 指導計画 【授業実施計画（配当時間：全6時間／本時1時間目）】

- 第1時
（本時）
- ・CDにより曲の概要をつかむ。
 - ・ポピュラー音楽の代表曲からビートルズを知る。
- 第2時
- ・楽譜を読み取り、リコーダーの運指を理解する。
 - ・チューニング、タンギングについて確認し、適切な息の使い方を探る。
 - ・ソプラノとアルトの運指が異なることを知る。
 - ・左手の運指を確認し正確に演奏する。
 - ・リズムを理解し練習する。
- 第3時
- ・右手を加えた運指やサミングの運指を確認して正確に演奏する。
 - ・主旋律を意識して練習をする。
- 第4時
- ・合奏を意識して演奏する。
- 第5時
- ・美しい音で低音や高音を表現する技能を身につける。
 - ・全体の流れを意識しアンサンブルをする。
- 第6時

7. 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・ポピュラー音楽の代表曲「Yesterday」からポピュラー音楽を親しむ。
- ・楽譜を読み取り、リコーダーの運指を理解する。

8. 本時の展開

時間	学習内容	ICT活動	指導上の留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶 ・本時の学習内容について知る。 	テレビ会議 <TPC>	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラに向かって挨拶。 ・ソプラノ、アルトリコーダーをそれぞれが演奏することを説明する。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・「Yesterday」器楽曲を鑑賞する。 ・原曲を鑑賞する。 	書画カメラ	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽記号を理解して、楽譜のよみ方を確認する。
	両曲聴いた感想を出し合う。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ビートルズについて知る。 	書画カメラ	<ul style="list-style-type: none"> ・教室、BS、両生徒から述べやすく、ことばかけをする。 ・色々な楽器が使われていることや、効果音など、エピソードを交えることで理解しやすくする。
	<ul style="list-style-type: none"> ・アルトリコーダーとソプラノリコーダーの違いを考える。 	書画カメラ	<ul style="list-style-type: none"> ・ソプラノリコーダーとアルトリコーダーの大きさをテレビ画面で比べる。 ・指導者が、それぞれ演奏する。 ・指づかいの違いを確認する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の担当する楽器の旋律に階名を打つ。 	書画カメラ	<ul style="list-style-type: none"> ・BS生徒に理解しやすく、階名表を映す。 ・正確に打つよう、ことばかけをする。
まとめ	各パートの階名を読み上げる。		<ul style="list-style-type: none"> ・教室とBSから、ソプラノとアルトの階名を確認する。 ・＃、♭、♮記号の音の階名表示を工夫するように例示する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・間違ったところを書き直す。 ・リコーダーを準備する。 ・運指表から＃、♭、♮の指づかいを指で押さえて確認する。 ・ビートルズその他曲を鑑賞する。 	書画カメラ 書画カメラ	<ul style="list-style-type: none"> ・＃、♭、♮の指づかいを分りやすく画面に見せる。 ・「オブラディ、オブラダ」などを鑑賞する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の授業を振り返る。 		<ul style="list-style-type: none"> ・振り返る視点を確認する。
	できたこと、分ったことを発表する。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶 		<ul style="list-style-type: none"> ・カメラに向かって挨拶。

9. 本時の評価

- ・ポピュラー音楽の代表曲「Yesterday」からポピュラー音楽を親しむことができたか。
- ・楽譜を読み取り、リコーダーの運指を理解することができたか。

10. 指導上の配慮事項 及び 状況づくりと支援内容

ホームページへは非公開とします。

配置図

